

## 三田市国民健康保険運営協議会 会議録

開催日時	令和5年1月19日(木曜日)午後2時00分～午後3時00分
開催場所	三田市市役所 2号庁舎 2301会議室
委員	公益代表委員 宗前会長、大澤委員、平井委員、田村委員(欠席) 被保険者代表委員 和泉委員、山見委員、山本委員、東田委員 保険医・薬剤師代表委員 木村委員、前橋委員、尾崎委員、平野委員
事務局	(共生社会部) 岸本部長(健康共生室) 喜多室長 (国保医療課) 谷郷課長、稲田係長、横山係長
傍聴人	0名

### 会議次第

	岸本部長挨拶
	(喜多室長より) 配布資料の確認 出席委員数の報告(11名出席、会議は成立) 議事録署名人の選任(山本委員、東田委員を選任) 傍聴人の報告(0名)
事務局	これより、会議の進行を宗前宗前会長にお願いします。
宗前会長	12月27日に市長より諮問のありました「三田市国民健康保険税率の改定」について、事務局より説明をお願いします。
	(谷郷課長より、「国民健康保険税率の検討」について説明)
宗前会長	事務局より3つの案が提示されました。案1は現行税率の据置き案。案2は前回の議論に沿い県標準税率と三田市の税率との差に対して、令和9年度までの5年分の1ずつ詰めていく案。案3では、案2の影響を半分にした折衷案となっています。前回、令和9年度時点の基金の保有額については、保険給付費の5%(約3億5千万円)を目途に急激な保険税の上昇抑制に活用していく話をしていましたが、市によっては、この保険給付費のうち療養給付費の1カ月分(5億円～6億円)を保有基準としているところがあるとの説明でした。 私から質問させていただきたいのですが、仮に令和9年度になり、県から示された税率を設定した場合は、市の基金を取崩さなくて良いということですか。
事務局	そのとおりです。
宗前会長	県から提示された納付金と収納する額が合ってくるということですか。
事務局	三田市というよりも、県全体での収支が合ってくるということです。三田市としてプラスであったとしても、県全体での負担が優先されます。よってどの市町においても基金を投入する必要はないと考えています。
宗前会長	令和9年度までの基金の活用を考えておけば良いということですね。 仮に据置いた場合、来年度以降の税率の上げ方については、どのように考えているのですか？
事務局	これまでどおり、急激な上げ方は避けたいと考えていますので、来年であれば、

	<p>令和5年度の令和9年度標準保険税率を目途に4年分の1年の増減を加減算するものと認識しております。</p>
宗前会長	<p>その都度、ルールを変えるというのではなく、原則、昨年度からのルールを状況に即して適用していくということですね。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
大澤委員	<p>昨年度、今後の税率改定に際しては、「対外的にも説明し易い」ということで、「令和9年度に向け毎年、均等に加減算していく」という形で整理をしました。今回、案2でいくと、ルールどおり改定しても黒字を出してしまう。この経済状況下で説明するにはしんどいのではないかと思う。原則ルールは守りつつも生活困窮者への配慮などを考慮して所得割、均等割の負担バランスの調整をして、収支をゼロにできないだろうか？ 県からのインセンティブが令和9年度に向けて、どのようになっていくのか見通しはあるのですか？あと、令和4年度決算見込についても教えてもらえますか。</p>
事務局	<p>昨年度からのルールとは言え、税率を上げて黒字を出してしまうのは説明できないと理解していますが、低所得者に配慮して収支をゼロにする税率設定は難しいと考えます。</p> <p>生活困窮者への配慮についてですが、2回目の協議会で報告しました、令和5年度に予定されている国民健康保険の改正で、①国保税の軽減判定所得の引上げ②国保税の限度額引上げが実施されます。令和4年度の政府経済見通しで、資源価格の上昇と円安による物価高を年央試算では、約2.6%程度の上昇と見込み、厚生労働省が反映させた措置であると聞いております。一定の救済措置が国全体としてなされていると考えており、こういった措置が次年度に実施されることを踏まえご協議をお願いします。</p> <p>所得水準が高く、収納率も高く、医療費水準が低い三田市には、1億3,600万円ものインセンティブが拠出されており、納付金から控除されています。現状で廃止や規模縮小といった情報はありませんが、制度は流動的で今後については分からない状況です。</p> <p>次に令和4年度決算見込についてですが、当初予算103億4,819万に対して108億807万と約4億6,000万の増と見込んでおります。内4億円が保険給付費の増であり、普通交付金にて全額補填されるものです。県への過年度収入精算（返還金）が約6,900万あり、概算払いの療養給付費や特定健診負担金がこれに該当します。当初予算が1,400万で繰越金が約5,600万ですので、決算見込の時点において繰越金の残は100万程度になると思われます。ただ、国保税の収納率が前年より良く、税率を上げたこともあり現時点で前年同時期1億7,000万ほど収納増となっています。よって次年度の繰越金については、わからない状況です。</p>
大澤委員	<p>実質収支としては、マイナスになってくるのですか。</p>
事務局	<p>見込の現時点においては、マイナスとなっていますが、最終はわかりません。</p>
宗前会長	<p>令和5年度に軽減判定の拡充が行われるなかで、これまで軽減の対象外だった人も軽減対象となってくるということですね。ただ、年金暮らしの方々にとって、物価上昇も影響ありますが、光熱水費の上昇は2.6%では済まないと感じてしまいます。</p>
大澤委員	<p>6ページの近隣自治体の税率改正状況の表なのですが、現時点において阪神間の自治体6市が据置きの判断をしているということですか。</p>

事務局	そのとおりです。
宗前会長	<p>ただ、据置き判断をしている自治体の税率は、三田市よりも高いところばかりですね。</p> <p>この3案にこだわる必要はなく、均等割や所得割の調整で収支をゼロに調整することも一つの案ですが、時間的な問題と医療分、支援分、介護分におけるバランスをどう配分するのか等、私としてはこの3案の中から考えるのが良いと思うのです。</p> <p>案1 据置き 案2 昨年のルールどおり（令和9年の標準保険税率に対して5年分の1の増減を加味した税率設定） 案3 案2の影響を半分にした税率設定</p> <p>ただ、案2と案3については、基金を投入するところか、繰越金を増やしてしまうという試算結果が出ています。大澤委員もお話されているように、この経済状況において、基金を取崩さないという判断は、対外的に説明がつかないとも考えます。宗前会長としての意見でなく、一委員としての私の意見としては、案1の据置きが一番妥当な案ではないかと思っております。</p>
大澤委員	<p>今年は例外的に、経済状況等も考える中で据置きもやむを得ないと考えます。ただ、来年になると残り4年で標準保険税率に到達しなければならない。大変にはなるが、基金を活用しながら急な税率上昇を抑えていただきたいと思います。</p>
宗前会長	<p>他に意見がないのであれば、この協議会としての答申の取りまとめについて、案1の据置きとしたいと考えております。この案に賛成の方、挙手をお願いします。賛成多数で案1で答申の取りまとめをさせていただきます。</p> <p>答申における付帯意見なのですが、昨年度は、（1）国民健康保険税率の改定については、令和9年度からの県下統一の標準保険税率となることを見据え、被保険者の急激な負担増とならないよう積極的に効率的な基金の活用を検討していくこと。（2）三田市民に対する給付と負担の公平性の見地から、引続き国保税の収納率の向上に努めることとさせていただきました。昨年度は、税率を上げたために負担をお願いする以上は、基金を積極的に活用すべきということと、国保税の収納もしっかりとやってくださいという主旨でした。来年度は据置きということと、収納率が上がっているという説明もあったことにより、私としては付帯意見を付ける必要がないと考えているのですがいかがでしょうか。あくまでも令和5年度向けの税率改定に係る答申としてはということで、今後については、適宜状況により判断するということです。</p> <p>答申作成後、被保険者を代表する委員として、和泉委員。保険医等を代表する委員として木村委員に答申書への署名をお願いしたいと思います。</p> <p>最終的な判断は、保険者である三田市が議会の議決を経て決定することとなります。必ずしも答申どおりとはならないことをお含みください。</p> <p>事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>委員の皆様におかれては真剣にご協議いただきありがとうございました。宗前宗前会長、議事進行と答申案を取りまとめいただき、ありがとうございました。答申につきましては、後日、1月26日に宗前宗前会長より市長に答申いただきます。</p> <p>その後、答申内容を受け保険税率を改定することとなった場合、3月の市議会に条例改正案として上程して参ります。作成しました答申書については、後日、皆さまに送付させていただきますのでご確認をお願いいたします。</p>
宗前会長	<p>以上を持ちまして本日の協議会での議題は、すべて終了しました。委員の皆さま</p>

事務局	<p>まありがとうございました。事務局にマイクをお返しします。</p> <p>(喜多室長より)</p> <p>宗前宗前会長ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては本日、長時間にわたり、ご協議いただきましてありがとうございました。次回は令和5年7月頃に運営協議会の開催を予定しております。日程が決まりましたらご案内させていただきます。</p> <p>これもちまして、令和4年度第3回三田市国民健康保険運営協議会を終了します。委員の皆様におかれましては、保険税の改定等にかかるご審議等にご尽力いただきありがとうございました。</p>
-----	--

令和 年 月 日

三田市国民健康保険運営協議会

宗前会長 \_\_\_\_\_

会議録署名委員

氏名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_